



令和7年度 上田市立南小学校 グランドデザイン

学校教育目標

つよく たくしく あたたかく

【開校以来の精神】

心身共に健康で、自ら考え判断し行動できる自主性や創造性を養い、公共心豊かな児童の育成

上田市教育大綱

～燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり～

【学校教育課重点目標】

- 1 確かな学力の育成
- 2 未来を切り拓く力の育成
- 3 豊かな心と健やかな身体の育成
- 4 すべての子どもに寄り添う支援
- 5 ふるさとを愛する心の育成

【子どもたちのよさ】～児童アンケート等～

- ・やさしく、明るく元気に学校生活を楽しんでいる
- ・思いやりの心もち、決まりを守って生活できる
- ・黙って時間いっぱい掃除ができる
- ・よく聞き、よく考えて学ぶことができる
- ・自分から調べたりまとめたりすることができる
- ・主体的な児童会活動で“あいさつ”の輪を広げている
- ・家庭でも規則正しい生活をしようとしている

【保護者・地域の願い】

～各種アンケート等～

- ◇信頼でつながる、安心・安全な学校
- ◇学力向上・授業力向上・学級力向上
- ◇あいさつが響き合う学校
- ◇生活習慣とメディアコントロールの向上
- ◇規範意識、交通安全意識の向上

めざす子どもの姿

「えがお輝く南っ子」



R7年度の重点

自分の考えをもち 表現し合う

「わくわく学び合い」を合い言葉に

・自分で決めて学びに向かう子どもをめざします

■インクルーシブな視点での授業改善

- ・テーマ別のグループによる授業改善
- ・合理的配慮と授業のユニバーサルデザイン化

■授業の3観点を意識した授業づくり

- ・子どもから生まれる“問い”から始まる授業
- ・メリハリある過程
- ・確実な見届け

■「考える・聴き合う・伝え合う」活動の重視

- ・“一人ひとりで学ぶ”と“みんなで学ぶ”場面の効果的な位置づけ

■子どもと創り出す探究的な学習の充実

- ・地域やSDGsを軸にしたカリキュラムづくり…日常的な探究活動

■ICT 機器の効果的な活用による“わかる”授業づくり

めざす学校像

～南小のウェルビーイングの実現のために～

「一人ひとりのよさや可能性をはぐくむ あたたかな関係性」

根気よく清掃に取り組む

「自分の考えをもち表現し合う」ベースとなる南小の「宝」

明るいあいさつが響き合う

「どんどん磨き合い」を合い言葉に

・体をきたえる子ども・がんばりぬく子どもをめざします

■チーム支援体制の構築

- ・学年の先生交流、合同授業等によるチーム支援

■無言清掃・気づき清掃の推進

- ・高学年がお手本となる“南小の宝：ひざつき清掃”の推進
- ・協働することのよさ、奉仕の大切さの自覚

■望ましい生活習慣の育成

- ・心と体を自分で守る
- ・生活習慣3本柱（家庭学習/メディア/就寝時刻）の推進

■体力・健康向上プラン

- ・一校一運動：（持久走） ・“外遊び”の充実
- ・朝のストレッチ運動による心身の柔軟性形成

「にこにこ響き合い」を合い言葉に

・多様性を認め合い、思いやりのある子どもをめざします

■道徳・人権教育・特別支援教育の充実

- ・人権感覚、折り合いを付ける力の育成
- ・多様性を包み込むインクルーシブ教育の推進

■あいさつ・返事・歌声の充実

- ・あいさつ・返事の推奨による認め合う雰囲気づくり
- ・学年学級・音楽集会での歌声の充実

■児童会を中心とした学校生活・交流活動の充実

- ・生活をよりよくするために、みんなで創り上げる児童会
- ・縦割りや姉妹学級での異学年交流の活性化

■自己肯定感向上に向けた取組の充実

- ・職員も児童も「さんづけ呼称」で広がる受容の輪

家庭・地域との連携により ～ひらく・つながる・ともに創る 南小～

学校運営委員会・南っ子応援隊

◇信州型CSの活用・発展

【学校運営への参画】

【学校評価】

【学校支援】・読み聞かせ ・見守り
・クラブ活動 ・学習支援

家庭(PTA)との連携

◇生活習慣3本柱の確立

- ①家庭学習の充実(「家庭学習の心得」の活用)
- ②メディアコントロールの推進
- ③就寝時刻

地域(中学校区)との連携

◇幼保小中でつなぐ支援の連携

【幼保小中連携ブロック会議】

【四中・城下小との連携】

◇民生児童委員会や自治会との連携